

鹿児島港臨港道路(鴨池中央港区線)の

橋脚工事をを行います



臨港道路 約2.4km
(うち 橋梁区間 約1.1km)
(橋台 計2基、橋脚 計11基)

国土交通省 九州地方整備局
鹿児島港湾・空港整備事務所

鴨池校区コミュニティ協議会 HP
(臨港道路情報掲載ページ)



■ 事業目的

鹿児島港臨港道路整備事業(鴨池中央港区線)は、南北20kmに渡る鹿児島港において、港内の円滑な港湾物流の確保と周辺道路の交通混雑の緩和を目的として、鴨池港区から中央港区间に臨港道路をつくる事業を実施しています。

■ 現地工事着手のご報告とご理解・ご協力をお願い

このたび、臨港道路をつくるにあたり現在橋梁建設中の西側に新たに2基の橋脚(P10、P11)を製作する工事を行います。工事はほぼ全ての工程が海上での作業となります。(作業内容は裏面をご参照ください)

作業期間中は、騒音や振動などが極力でないよう周辺環境に配慮して作業を行います。

地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

作業工程表

※ 工程は、天候・海象等により多少前後することがございます。

工種・作業	令和7年					令和8年												令和9年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
準備工	■																									
仮設工						■												■								
基礎工						■												■								
躯体工																		■								
後片付け工																		■								

騒音・振動計

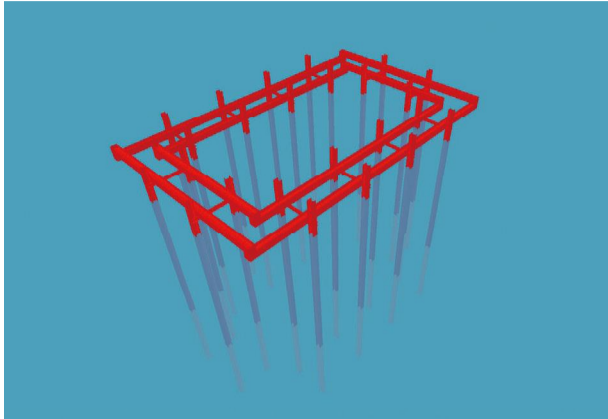


『鋼管矢板』を海底地盤に打ち込むときに、リアルタイムで測定が確認できる「騒音・振動計」を設置し、環境基準値内での作業を行い、生活環境に配慮します。
騒音規制値: 85 db以下
振動規制値: 75 db以下

橋脚工事の作業手順

1 仮設工

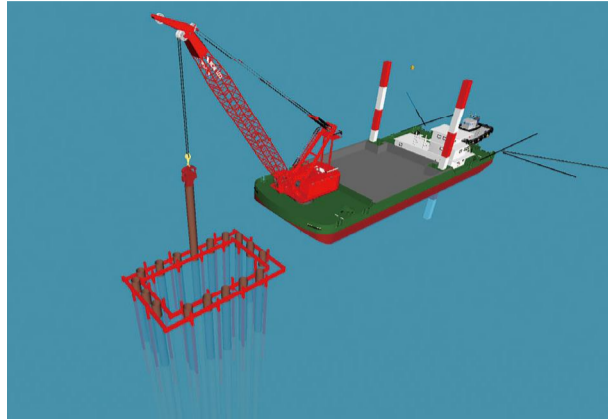
どうぐい・どうわく
導杭・導枠設置



橋脚位置に「導杭・導枠」を設置します。導枠は、のちに設置する鋼管矢板を海底地盤に鉛直に打ち込むための定規の役割を果たします。

2 基礎工

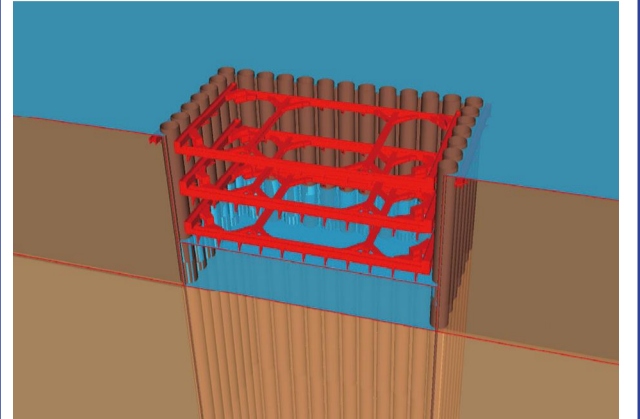
こうかんやいた
鋼管矢板打設



「鋼管矢板」を海底地盤に打ち込みます。鋼管矢板は橋脚1基当り38本を使用し、長方形に配置します。これを井筒と言い橋脚を支える基礎となります。

3 仮設工

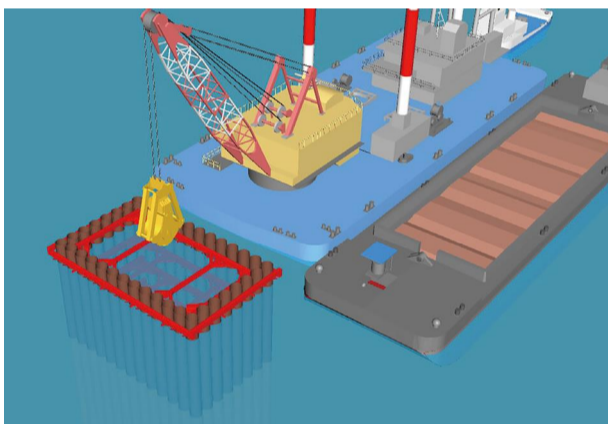
支保工設置



井筒内の海水を段階的に排水しながら、鋼材で「支保工」を設置します。排水→支保工設置を繰り返し行い、井筒内の水位を下げます。

4 基礎工

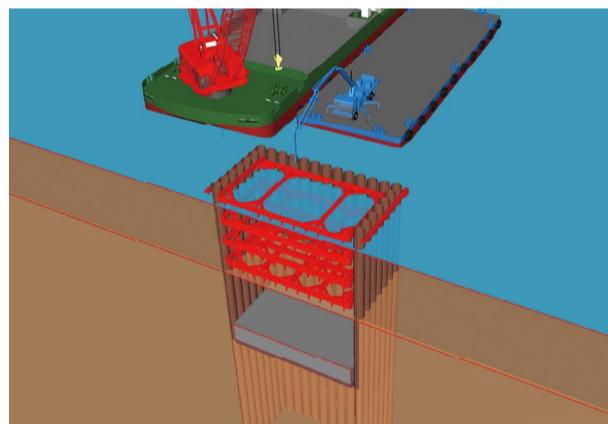
井筒内掘削



「井筒」内の海底を掘り下げます。掘り出した土砂は所定場所に適切に処理します。

5 基礎工

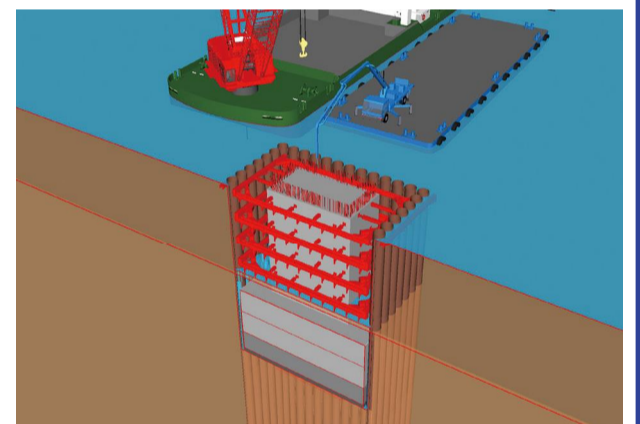
底盤コンクリート打設



掘削完了後、底から水が湧き出てくるのを塞ぐ蓋の役割を果たす「底盤コンクリート」を打設します。その後、井筒内の海水を全て抜き空洞にします。

6 躯体工

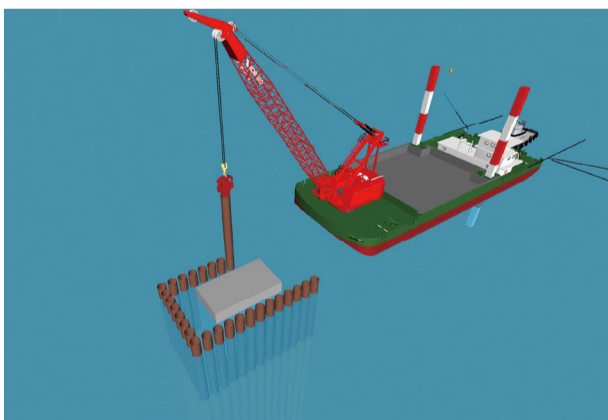
くたい
躯体コンクリート打設



鉄筋・型枠を設置後、コンクリートを打設します。5層に分けてコンクリートを打設し、下から上へ「躯体」を造り上げていきます。

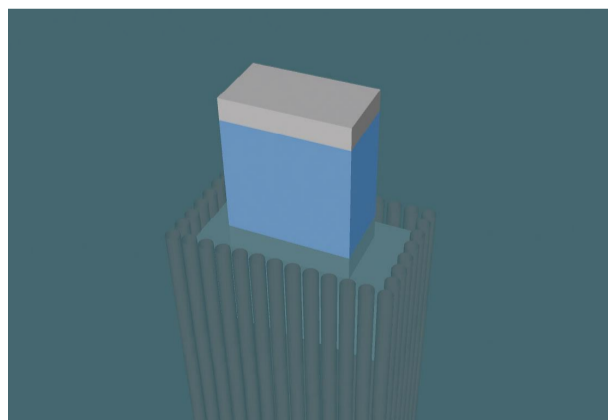
7 基礎工

こうかんやいた
鋼管矢板切断・引き抜き



躯体が出来上がったら、海面上にまで突き出ていた「鋼管矢板」を海底面付近で切断し引き抜きます。

8 橋脚完成



橋脚の完成です。

工事受注者

P10工事 

東洋・本間特定建設工事
共同企業体

P10工事担当現場代理人: 稲村政史
TEL: 070-3539-2325

P11工事  

若築・吉田特定建設工事
共同企業体

P11工事担当現場代理人: 工藤悦史
TEL: 099-299-8075

発注者

 国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

九州地方整備局
鹿児島港湾・空港整備事務所
TEL: 099-223-3296